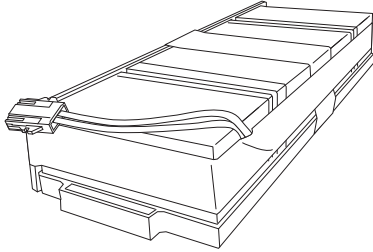


BUB150RA 交換用バッテリーパック



取扱説明書

このたびはオムロン製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。



オムロンソーシャルソリューションズ株式会社

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2016

K1L-D-15116F

本製品は、UPS（型式 BU150R）、増設バッテリーユニット（型式 BUM150RA）専用の交換用バッテリーパック（以降バッテリーと呼ぶ）です。

●付属品について

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンターへご連絡ください。

- 取扱説明書（本書）..... 1 枚
- バッテリー交換日ラベル 1 枚
- バッテリー固定ねじ（予備） 2 本
- フロントパネル固定ねじ（予備） 2 本
- リプレイスサービス引取申込書 1 枚

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●警告 / 注意表示の意味



警告 正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。
また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。



注意 正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。
なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●警告表示



警告

梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管する。可燃性ガスがある場所でバッテリーを交換しない。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発、火災の恐れがあります。
- 小さいお子様がかぶつたりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

バッテリーの分解、改造をしない。

- 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえたりしない。

- バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。
- 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。
- 落下に巻き込まれるとけがをします恐れがあります。

バッテリーを火の中に投棄したり、破壊したりしない。

- バッテリーが破裂、爆発したり、液体（電解液）が漏れたりすることがあります。また、火災の恐れがあります。

交換作業は安定した平らな場所で行う。

- バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。落下によるけが、バッテリーからの液漏れによる失明や、やけどなどの恐れがあります。
- バッテリーコネクタを差し込んだときに、「パチッ」と音が聞こえることがありますが、問題ありません。

バッテリーは必ず指定品を使用する。

- 指定以外のバッテリーを使用した場合、本機の故障、発煙、発火、火災の恐れがあります。不適切な種類のバッテリーに交換した場合は、爆発の恐れがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーに交換してください。バッテリーについては、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

バッテリーから液漏れがあるときは液体（電解液）に触れない。またバッテリーを逆さまにしない。

- 失明や、やけどをします恐れがあります。
- 液体（電解液）が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断（診療）を受けてください。
- 交換用バッテリーパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

バッテリー接続コネクタやバッテリー収納部に金属物を挿入しない。バッテリーやコネクタの端子間をショートさせない。

- 感電や発煙、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みのバッテリーでも、内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリーを取り外すときに、ケーブルやコネクタを持って引っ張らない。

- ケーブルの損傷により、感電や発煙、発火の恐れがあります。

バッテリー交換の際は、以下の注意事項を遵守する。
遵守しない場合、UL 規格に適合しません。

- 感電、ショートの恐れがあります。
 - ・ 時計、指輪などの貴金属類は着用しないでください。
 - ・ グリップ部分が絶縁されたドライバを使用してください。
 - ・ 絶縁性の手袋と靴を着用してください。
 - ・ バッテリーの上には工具や金属類を置かないでください。
 - ・ バッテリーを接地しないでください。また、接地状態のバッテリーには触らないでください。
 - ・ 本体内部に手を入れないでください。
- バッテリー交換はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、またはその人の監督の下で行ってください。

●注意表示



注意

UPS 本体に増設バッテリーユニットを接続している場合は、UPS 本体と増設バッテリーユニットのバッテリーを必ず同時に交換する。
● 新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用するとバッテリーが早く劣化し、液漏れする恐れがあります。

UPS 本体を UL 規格適合品として使用する場合、バッテリー交換作業は、接続機器の AC 入力プラグを抜いた状態で UPS 本体の電源を切り、商用電源の供給を止めてから行う。

- 運転状態でのバッテリー交換機能は、UL 規格に適合していません。
- 交換作業中は、接続機器への給電はできません。バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。また、運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、出力は停止します。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

お願い

<ご使用開始前に>

- 購入後は早めに充電してください。
- ご購入後長期間充電しないと、バッテリーが劣化し、使用できなくなる場合があります。
- 充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。

- もしバッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

<ご使用中に>

- 頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。
- バッテリーの劣化が早まり、寿命が著しく短くなる場合があります。

この製品には、鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、UPS 本体の取扱説明書（最終ページ）の「お問い合わせ窓口」までご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社までご送付ください。
- その際に、ショートの危険がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。

<保管する場合>

- バッテリーを UPS 本体に入れて保管される場合はバッテリーを完全に充電し、電源を切ってください。また、以下の通り定期的に再充電してください。
- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 充電時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 再充電の目安
 - ・ 保管温度 25℃以下：6 か月以内
 - ・ 保管温度 40℃以下：2 か月以内
- 長期間保管される場合は 25℃以下の環境を推奨します。
- 保管中は UPS 本体の「電源」スイッチを切ってください。

■バッテリーの点検

鉛バッテリーは寿命があります。
(保存／使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。)
寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

●バッテリーの期待寿命（※保証値ではありません）

周囲温度	25℃	30℃	35℃	40℃
バッテリー期待寿命	5 年	3.5 年	2.5 年	1.7 年

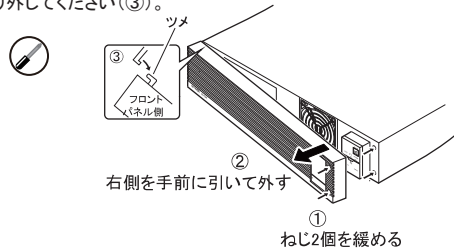
●バッテリー点検の目安、頻度

周囲温度	6ヶ月ごとの点検	1ヶ月ごとの点検
40℃	購入時から 1 年まで	使用開始から 1 年以降
30℃	購入時から 3 年まで	使用開始から 3 年以降
25℃	購入時から 4 年まで	使用開始から 4 年以降

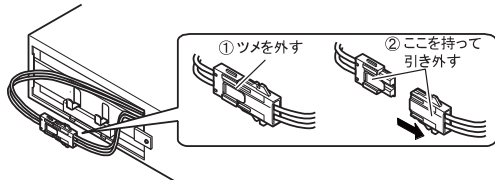
バッテリーの交換

ねじを回すためにドライバが必要であることを示します。
ねじの形状に合ったドライバをご用意ください。

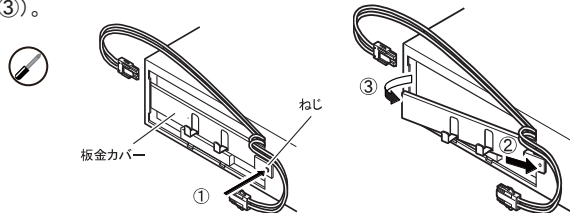
1. フロントパネル右側のねじ(2 個)を緩め(①)、フロントパネルの右側を手前に引いて取り外します(②)。
フロントパネルを強く手前に引くとツメが折れることがあります。少し手前に引いてから右方向にスライドするように取り外してください(③)。



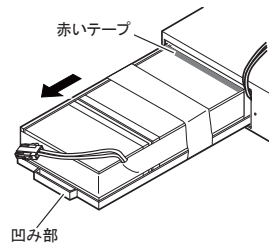
2. バッテリーケーブルをケーブルホルダから外します。
コネクタのツメを外し(①)、バッテリーコネクタを持ちながらコネクタ同士を引き外します(②)。



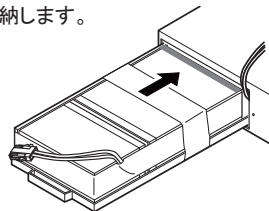
3. 板金カバーを固定しているねじ(1 個)を外します(①)。
板金カバーを右側に軽く押し込んでから(②)、左側を手前に引いて取り外します(③)。



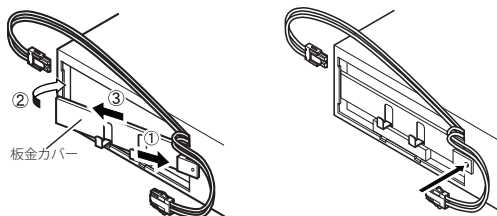
4. バッテリー下部の凹み部に指をかけて、バッテリーを引き出します。
バッテリーのケーブルやコネクタを持って引つ張らないでください。
バッテリーの天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cm でバッテリーが完全に取り出せます。
バッテリーは重量物です。両手でしっかりと持ち、落下させないように注意してください。



5. 新しいバッテリーをUPS本体の奥まで挿入し、収納します。

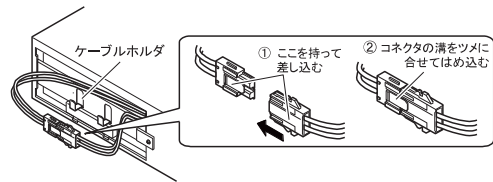


6. 板金カバーの右端をUPS本体に差し込み(①)、左側を押し込んでから(②)、左へスライドします(③)。
手順3 で外したねじ(1 個)を取り付け、板金カバーを固定します。

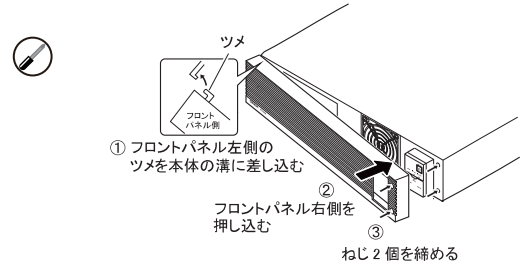


7. バッテリーコネクタを差し込み(①)、コネクタの溝をツメに合わせてはめ込みます(②)。

バッテリーケーブルをケーブルホルダに取り付けます。
バッテリーの接続が不十分な場合、UPS本体が正常に動作しません。しっかりとバッテリーコネクタを差し込んでください。
運転停止(電源出力停止)状態で交換作業を行っている場合、コネクタ接続時にパチッと音がすることがありますが、異常ではありません。



8. フロントパネル左側のツメをUPS本体側の溝に差し込み(①)、フロントパネル右側を押し込みます(②)。
フロントパネル右側をねじ(2 個)で固定します(③)。



9. 交換作業が終わったら、自己診断テストを実施します。
テストが終了すると、自動的に運転状態に戻ります。

- 運転停止(電源出力停止)状態でバッテリー交換を行った場合
AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込み、「電源」スイッチを押してUPS本体の電源を入れてください。自動で自己診断テストが実施されます。
 - 運転中(電源出力中)にバッテリー交換を行った場合
「ブザー停止/テスト」スイッチを5~9 秒押し、手動で自己診断テストを実施してください。
自己診断テスト(手動)については、UPS本体の取扱説明書を参照してください。
ブザーが鳴っているときは、「ブザー停止/テスト」スイッチを1秒以上押し続けてブザー音を止めてから操作してください。
交換前に「バッテリー交換」ランプやブザー音が動作していた場合、自己診断テスト終了後に通常状態に戻ります。
10. バッテリー寿命カウンタをリセットします。
「ブザー停止/テスト」スイッチを10 秒以上押し、バッテリー寿命カウンタをリセットしてください。リセットが完了すると「**bu**」と表示されます。

運転停止(電源出力停止)状態の場合
ブザーが「ピー」(連続音)と鳴ったらスイッチを離してください。

運転中(電源出力中)の場合
ブザー音が「ビッピッ」(断続音)から「ピー」(連続音)に変わったらスイッチを離してください。

11. バッテリー交換日を記録します。
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、UPS本体に貼り付けてください。

本取扱説明書に記載されている各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13 品川フロントビル7F
TEL: 03-6718-3630

【オムロン電子機器カスタマサポートセンター】

0120 - 77 - 4717

【電話受付時間】 月曜日～金曜日(祝祭日、当社の休日を除く)
9:00～17:30(12:00～13:00を除く)

FAX: 03-6718-3632

メールアドレス: omron_support@omron.com